

介護の仕事、始めませんか？

介護職とは、お年寄りを笑顔にする仕事です。
認知症や身体が不自由になったお年寄り、障がい者、病気の人の生活を支えています。
現在、全国的に介護人材が不足しており、市でも人材確保の対策事業を行っています。
今回は、介護職の魅力や、市や関係団体で行っている人材確保の取り組みを紹介します。

●長寿介護課 ☎20・7301

INTERVIEW

介護のしごと **魅力伝道師**

恵光会 グループホーム慈恵荘

介護福祉士 **高田 美咲** さん

★「介護のしごと魅力伝道師」とは

県が認定した、介護の仕事に従事しながら、介護職のやりがいや魅力を伝える活動を行う若手職員。



◀詳しい活動内容(県HP)

——「介護のしごと魅力伝道師」になろうと思ったきっかけは。

介護職は年々、若い人の就職が少なくなってきました。高校在学中に就職説明会で介護施設から話を聞く機会があったことを思い出し、私も高校生や若い人たちに直接話をしに行きたいと上司に相談したら、「介護のしごと魅力伝道師」というものがあるよと紹介を受け、挑戦しようと思いました。

——初めから介護の資格取得などを目標して福祉科のある高校に進学を？

いいえ、最初は介護職に興味がなくて、何なら「嫌」と思っていました。でも、普段の生活のなかで、まちで会ったおじいちゃん、おばあちゃんに元気にあいさつしたり、席を譲ったり、世間話をしているときのシワのある笑顔を見て、「おじいちゃん、おばあちゃんと関わるのが大好き」とふと思って一番近くで寄り添える仕事に就きたいと思いました。

——魅力伝道師としてまず一番にやりたいことはありますか。

介護職のマイナスイメージを壊したい。

初めは私も「きつそう」「大変そう」と思っていました。介護について知らない人は、マイナスのイメージを持たれていることが多いと思います。それに対して、初めは嫌だと思っていた私が今も介護士として働き続けている理由を伝えていき、介護職の楽しさややりがいを知ってもらい、イメージアップができたと思っています。

介護職4年目のいま

—やりがいは何ですか。

利用者さんの笑顔。

私たち介護士が少しお手伝いをすることで、できなかったことができるようになられ、「ありがとう。助かった!!」と満面の笑顔を見せてもらえたときに、うわあ〜!!!と思い、やりがいを感じます。

—仕事が嫌になってしまうときはありましたか。

たくさんありましたが、周りの先輩や上司が声をかけてくれたり、限界を感じたときに休日をもらえたりと、フォローのおかげでもう少し頑張ってみようと思いました。また、家族が一番近くで支えてくれました。



—高田さんにとって「介護」とは。

最初は年を重ねていくことで、以前できていたことができなくなったということに対して、かわいそうというイメージが強かったのですが、私たちが少しお手伝いをすることで、できなかったことができるようになられ、表情も明るくなった利用者さんをたくさん見てきました。「全部してあげる」ではなく「一緒にする・お手伝いをする」ことが大事だなと思います。



高田さんと先輩職員 of 皆さん

移動や移乗の介助



ベッドから車いすへの
移乗なども行います

シーツ交換



定期的に交換して
清潔をキープ

食事の介助



ごえん
誤嚥などに注意しながら
食事をサポート

入浴の介助



きれいさっぱり!

仕事の
一部を
紹介!



コミュニケーション



利用者さんとの
交流は大切♡

オのいま

介護人材確保を取り巻く課題について、日頃から介護人材の確保対策に取り組む「県央圏域介護人材育成確保対策地域連絡協議会」のお二人にお話を伺いました。

イメージアップが要^{かなめ}

本県は全国に比べ高齢化のスピードが早く、2040年には85歳以上が人口の約4割に達すると推測されています。そのような社会を支える介護人材の確保・定着のために、労働環境の改善や多様な人材の参入促進などが必要です。介護職のイメージというと「大変そう・きつそう・つらそう」といった印象が先行し定着しているように感じます。実際には、介護職の全員がそう思っているわけではなく、「利用者さんの笑顔にやりがいを感じています」など、一人一人が福祉や介護職の魅力を感じて頑張っています。その

現状を多くの人に知ってもらうため、本協議会ではさまざまな取り組みを進めています。イメージアップを図るために、学校を訪問し実施している「福祉の仕事基礎講座」などのキャリア教育をはじめ、県が認定する「介護のしごと魅力伝道師」による小中高生や一般向けの講話や講演活動などを行っています。ぜひ一度、大村市民の皆さんにも話を聞いていただきたいと思います。

2月にはミライオンで映画「ケアニン」の上映会・介護のしごと魅力伝道師による講話があります。ぜひ、足を運んでみてください。

●県央圏域介護人材育成確保対策地域連絡協議会
介護人材の確保・定着に向けた総合的な取り組みを実施するため、本市を含む関係機関等が目標を共有し、連携と協働のもと介護人材の確保対策を推進する組織として、平成28年に発足。

道辻 禎孝

県央圏域介護人材育成確保対策地域連絡協議会
(社)福聖コゼフ会
ヘルパーステーション聖フランシスコ
サービス提供責任者



映画「ケアニン～ここに咲く花～」上映会 & 介護のしごと魅力伝道師の講話

認知症と介護職の魅力を知ることができるイベント



2月1日(土)、13時30分～(受付13時～)

ミライオン1階多目的ホール

料金/無料 定員/70人(先着順)

申込/申込フォーム・電話

☎080・6407・9322(福嶋)



映画のあらすじ

小規模施設から大型の特別養護老人ホームに転職した介護福祉士の大森圭。彼は効率やリスク管理を優先する運営方法に疑問を感じる。そんなとき、認知症の老婦人・美重子が入所してくる。

※手話通訳・字幕あり

介護人材

福嶋 孝紀

県央圏域介護人材育成確保対策地域連絡協議会
福祉人材育成協議会
(株)コーポレーションスマイルケア
大村営業所 所長
居宅介護支援事業所スマイルケア
主任介護支援専門員

現場から想いを形に

本協議会の活動に加えて、福祉人材育成協議会※でも、市や社会福祉協議会と連携し、介護人材確保の取り組みを進めています。福祉人材育成協議会では、現任職員の資質向上を目指した「基本介護技術研修」を実施しています。この研修では、場面に応じた実技研修を行います。高齢者介護施設だけでなく、障がいサービス事業所で働く人も参加し、市内全体の介護職員の基本介護技術の底上げを目指しています。また、新たな介護人材確保の取り組みとして、「福祉の就職相談会」も実施しています。このような取り組みは、本業のかたわら行っており、職場の理解があつてこそ活動できています。いま一番懸念することは、こういった活動に参加・賛同する人が減っていることです。もちろん本業が優先ですが、「誰かがやってくれるだろう」では、介護人材不足は解消しません。「想いを形にするために、介護人材不足を訴える現場の施設・事業所から一人でも多く協力いただくことを期待し、人材育成・確保に取り組んでいきます。

※福祉人材育成協議会……大村市社会福祉協議会が主体となり、市内の各介護サービス事業所連絡協議会の委員で構成。市と協力し、幅広い分野で福祉人材確保に向けた取り組みを行っている。

new 介護人材に関する応援金

介護人材確保・定着応援金

介護福祉士の資格を持つ人が、新たに市内の介護事業所等で働くと、最大15万円を交付します！

交付額 ※それぞれ1回限り

常勤の職員 1年毎に5万円を3カ年 最大15万円

非常勤の職員 1年毎に3万円を3カ年 最大9万円



介護福祉士資格取得応援金

市内の介護事業所等で働いている人は、介護福祉士の資格取得で5万円を交付します！

交付額 5万円 ※1回限り



※交付の条件や申請方法など詳細は、後日市ホームページでお知らせします。

特設サイト
紹介

県による介護人材確保の取り組みに関する情報が掲載されています。



▲公式HP



▲Instagram